

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: イオン試験紙ニッケルチェック
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名称	: 東洋濾紙株式会社
住所	: 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル5階
担当部門	: 品質保証室
電話番号	: 03-5521-2176
FAX番号	: 03-5521-2177
メールアドレス	: trk-hinsho@advantec.co.jp
推奨用途	: Ni ²⁺ 測定 (有効範囲: 0~1,000mg/L)
使用上の制限	: 上記以外の用途にご使用される場合は、事前にご相談ください。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	: 区分に該当しない。
健康有害性	
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分2。
生殖細胞変異原性	: 区分2。
生殖毒性	: 区分2。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分2 神経系、肝臓、心臓、腎臓。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分2 呼吸器、腎臓、神経系。
環境有害性	: 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起	: 警告。
危険有害性情報	: 皮膚刺激。 強い眼刺激。 遺伝性疾患のおそれの疑い。 生殖能または胎児への悪影響のおそれ。 神経系、肝臓、心臓、腎臓の障害。 長期または反復暴露による呼吸器、腎臓、神経系の障害のおそれ。 長期または反復暴露による心臓、歯、骨の障害のおそれ。
注意書き	
安全対策	: 取扱後は手をよく洗うこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

応急処置	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 ： 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
廃棄	： 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に委託処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	： 混合物
化学名又は一般名	： 試験紙
成分及び濃度又は濃度範囲	： セルロース (CAS No. 9004-34-6) フッ化ナトリウム (CAS No. 7681-49-4) ピロリン酸ナトリウム十水和物 (CAS No. 13472-36-1) チオ硫酸ナトリウム五水和物 (CAS No. 10102-17-7) 酢酸ナトリウム三水和物 (CAS No. 6131-90-4) ジメチルグリオキシム (CAS No. 95-45-4) フェノールフタレイン (CAS No. 77-09-8) メチルオレンジ (CAS No. 547-58-0)

官報公示整理番号

化審法	： (1)-332 フッ化ナトリウム (1)-497 ピロリン酸ナトリウム十水和物 (1)-503 チオ硫酸ナトリウム五水和物 (2)-692 酢酸ナトリウム三水和物 (2)-541 ジメチルグリオキシム (9)-1152 フェノールフタレイン (5)-4278 メチルオレンジ
-----	---

安衛法	： 別表第9の487 フッ化ナトリウム 別表第9の111 ピロリン酸ナトリウム十水和物
-----	--

4. 応急措置

吸入した場合	： 該当しない。
皮膚に付着した場合	： 直ちに付着部又は接触部を多量の水で洗い流し、医師の診察を受ける。
眼に入った場合	： 直ちに清浄な流水で十分に洗眼後、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	： 直ちに水を飲ませて吐かせ、医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	:	水（噴霧）、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、ハロゲン化消火剤など。
使ってはならない消火剤	:	データなし。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	:	データなし。
環境に対する注意事項	:	データなし。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	データなし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	:	火器のそばの取扱いに注意する。
保管	:	変質および吸湿による劣化を防止するため、密閉して、冷暗所に貯蔵する。 また酸化物質、有機過酸化物質などと、同一の場所に置かない。 ボイラーなど、熱源付近や可燃物の近くに置かない。 1,000kg以上の保存時には、消防法(指定可燃物：ぼろ及び紙くず)の適用を受ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	日本産業衛生学会	:	データなし。
	ACGIH	:	データなし。
設備対策		:	必要に応じて講じる。
保護具		:	必要に応じて使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:	固体、表面が平滑な紙。
色	:	白色、黄緑色。
臭い	:	なし。
融点/凝固点	:	データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	:	データなし。
可燃性	:	あり。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	:	該当しない。
引火点	:	該当しない。
自然発火点	:	該当しない。
分解温度	:	該当しない。
pH	:	データなし。
動粘性率	:	該当しない。
溶解度	:	データなし。
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし。
蒸気圧	:	データなし。
密度又は相対密度	:	データなし。

相対ガス密度 : 該当しない。
 粒子特性 : データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の取扱い条件では安定。
 化学的安定性 : 通常のとおり条件では安定。
 危険有害反応可能性 : データなし。
 避けるべき条件 : 直射日光、紫外線、水漏れ、高温、高湿、屋外保管。
 混触危険物質 : 酸化剤、強塩基。
 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、硫黄酸化物、窒素酸化物、フッ化水素、酸化リン。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

: 区分に該当しない。
 混合物の成分の急性毒性推定値 (ATE) を加算式による計算値から判断した。

(成分として)

区分3 飲み込むと有害。

ラット 経口 LD₅₀=60 mg/kg

ウサギ 経口 LD₅₀=150 mg/kg

(メチルオレンジ)

ラット 経口 LD₅₀=100 mg/kg

(フッ化ナトリウム)

区分4 飲み込むと有害。

ラット 経口 LD₀=250mg/kg

(ジメチルグリオキシム)

ラット 経口 LD₅₀=1000 mg/kg

(ピロリン酸ナトリウム十水和物)

経皮 : データ不足のため分類できない。

吸入：ガス : 区分に該当しない。

吸入：蒸気 : 区分に該当しない。

吸入：粉塵、ミスト : データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2。

(成分として)

区分2 皮膚に対して刺激性がある。

ウサギを用いた一次皮膚刺激性試験で、軽度の刺激性がみられたのと報告がある。ラットを用いた24時間適応の皮膚刺激性試験で、表在性の壊死、浮腫、炎症がみられたとする報告がある。よって区分2とした。(フッ化ナトリウム)

ヒトで軽度から中程度の皮膚刺激反応がみられたとの記載がある。

(ピロリン酸ナトリウム十水和物)

- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2。
 (成分として)
 区分1 重篤な眼の損傷。ウサギを用いた眼刺激性試験で、角膜上皮の欠損と、結膜の壊死がみられたとあることから、眼に重度の非可逆的な刺激を与えるものと考え、区分1とした。
 (フッ化ナトリウム)
 区分2 A 眼に対して強い刺激性がある。ウサギの眼を中程度に刺激する。
 (酢酸ナトリウム三水和物)
 ウサギでひどい眼刺激性があり、角膜に障害をもたらすとの記載がある。また、ヒトで軽度から中程度の刺激性が認められるとの記載および重度の刺激性と化学的火傷のもととなる危険性があるとの記載がある。
 (ピロリン酸ナトリウム十水和物)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データ不足のため分類できない。
 生殖細胞変異原性 : 区分2。
 (成分として)
 区分2 体細胞in vivo変異原性試験の Maus骨髄を用いた染色体異常試験は、「陰性」だが、マウス赤血球を用いた6つの小核試験では、「陽性」との記述がある。(フェノールフタレイン)
- 発がん性 : データ不足のため分類できない。
 (成分として)
 区分2 発がんのおそれの疑い。
 IARCではグループ2B (ヒトに対して発がん性があるかもしれない) に分類している。(フェノールフタレイン)
- 生殖毒性 : 区分2。
 (成分として)
 区分1 B 生殖能または胎児への悪影響のおそれ。(フェノールフタレイン)
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分2。
 (成分として)
 区分1 神経系、肝臓、心臓、腎臓。
 本物質を97%含有する殺虫剤粉末120gを経口摂取した男性が、約2時間後に筋強直、心室細動、食道狭窄症を示したと報告があるなどの記述がある。
 (フッ化ナトリウム)
 区分3 呼吸器への刺激のおそれ。
 ヒトで咳および鼻と咽頭の刺激がみられる。(ピロリン酸ナトリウム十水和物)

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：	区分2。 （成分として） 区分1 歯、骨の障害。 区分2 心臓、肝臓、腎臓、生殖器 （男性）の障害のおそれ。 ヒトについては、本物質に関する情報は ないが、ACGIHの「ふっ化物」において、 無機のフッ化物の職業ばく露によるふ っ素沈着症に関連する骨の病変の報告 があるなどの記述がある。 （フッ化ナトリウム） 区分1 長期または反復暴露による腸 の障害。 （フェノールフタレイン）
誤えん有害性	：	データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）	：	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期（慢性）	：	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	：	データなし。
生体蓄積性	：	データなし。
土壌中の移動性	：	データなし。
オゾン層への有害性	：	データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する（国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う）。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法等に沿って処理する（廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめいたします）

1 4. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報	：	消防法における指定可燃物に該当する。
----------------	---	--------------------

1 5. 適用法令

- 安衛法 : 第五十七条の二 施行令第十八条の二 表九名称等通知すべき有害物
(政令番号四百八十七 弗素及びその水溶性無機化合物) フッ化ナトリウム
(政令番号百十一 オキシビスホスホン酸四ナトリウム) ピロリン酸ナトリウム十水和物
- 化審法 : 既存化学物質(1)-332 フッ化ナトリウム
既存化学物質(1)-497
ピロリン酸ナトリウム十水和物
既存化学物質(1)-503
チオ硫酸ナトリウム五水和物
既存化学物質(2)-692 酢酸ナトリウム三水和物
既存化学物質(2)-541 ジメチルグリオキシム
既存化学物質(9)-1152 フェノールフタレイン
既存化学物質(5)-4278 メチルオレンジ
- 消防法 : 第九条の四 (指定数量未満の危険物等の貯蔵又は取扱いの基準)、危険物の規制に関する法令第一条の十二、別表第四指定可燃物(ぼろ及び紙くず。1,000kg以上は消防法の適用を受ける。1,000kg未満の場合、物品の貯蔵及び取扱いの技術上の基準は市町村条例で定める)。
- 化学物質排出把握管理促進法 (化管法) : 第一種指定化学物質 (政令第374号)
フッ化ナトリウム
第二種指定化学物質 (政令第74号)
フェノールフタレイン

1 6. その他の情報

記載内容の取扱い

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

参考文献

- ・ GHSに基づく化学品の分類方法 (JIS Z 7252:2019)
- ・ GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2019)